

「おでかけ交通博 2020 オンライン版」を開催しました！

(東北運輸局 交通政策部 交通企画課)

令和2年10月23日(金)13:00~17:00に「おでかけ交通博 2020 オンライン版」を開催しました(協力:福島大学 吉田樹准教授)。

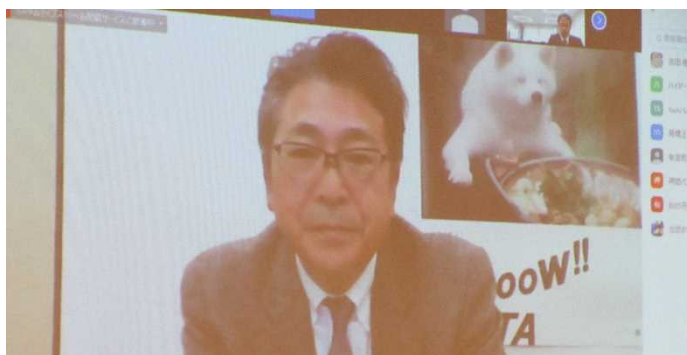
「おでかけ交通博」とは、地方公共団体や交通事業者に、地域公共交通の確保・維持・改善の取り組みを発表してもらい、年に一度の交通企画課一大イベントです。参加者に、地域の「おでかけの足」を考えてもらおうと、平成27年にスタートしました。昨年まではホテル等で開催してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で3密を回避するためオンラインセミナーとし、YouTubeでライブ配信させて頂きました。仕組みとしては、仙台にトークセッション会場を設け『東北仕事人』の方々と、各地にいる自治体・事業者の方達を、ZOOMを利用して現地と繋ぎ、地域のおでかけの足を維持するためなどの取組事例を発表して頂きました。また、その発表された取組事例を『東北仕事人』が視聴者よりリアルタイムで受け付けた質問と一緒にディスカッションするといった内容で、東北運輸局交通政策部交通企画課で初の試みでした。その初の試みに出演をお願いしたのは、秋田県ハイヤー協会、神姫バスなど9つの団体です。



【ディスカッションの様子(奥から、福島大学 吉田先生、NPO 法人いわて地域づくり支援センター 若菜理事、秋田大学 日野先生、福島大学 村上先生)】

タクシーのフードデリバリーについて、乗務員確保について、などテーマは様々です。背景に秋田犬のポスターが用意されたり、スライドにマスコットキャラクターが挿入されたり、画面作りにも気合いが入っていました。

各10~15分で発表してもらった後、3団体ずつに区切って質問コーナーが設けられました。鋭い質問・指摘が続出し、専門家の論理が宙を舞っていたので、新人の私は終始蚊帳の外でした。



【秋田県ハイヤー協会の発表。背景に秋田犬が映る。】



【笑みを浮かべる吉田樹准教授】

視聴者数は約270名、延べ再生回数は約690回でした。準備に奔走する上司達を見てきたので、「再生回数100回って、凄いことなのだな」と思いました。プロのYouTuberは、ただ者ではないですね。